

令和元年(2019年度)熊本県堆肥共励会堆肥腐熟度判定結果

分析機関 JA鹿本 開発センター、農業研究センター畜産研究所
コメント作成:

通しNo	86
地域	球磨
生産者名	(株)新和コンサルタント あさぎり町有機センター さま
堆肥原料	肉牛

1 堆きゅう肥の成分分析結果

(分析値は現物当たりの%で示した。1%で1t当たり10kgに相当する。)

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	塩素	炭素	炭素率	銅(ppm)	亜鉛(ppm)
分析値	23.6	9.14	4.64	1.71	2.89	2.45	2.49	0.93	0.11	25.96	15.18		
評価 *1	低い	やや高い	標準	高い	高い	高い	高い	高い	低い	高い	やや低い		
堆肥1t中の肥料成分量(kg)				8.6	23.1	22.1							

*1 評価基準は、下記参考)熊本県における堆肥の分析値により判断した。

参考)熊本県における堆肥の分析平均値 **肉牛**

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	塩素	炭素	炭素率
平均値+σ	63.3	9.2	5.4	1.5	2.1	2.4	2.2	0.8	1.2	21.7	24.5
平均値	50.9	8.1	4.2	1.0	1.3	1.7	1.1	0.6	0.7	17.1	18.7
平均値-σ	38.5	7.0	3.0	0.6	0.6	1.0	0.0	0.3	0.3	12.4	12.8

この表は該当する畜種のH16-30年度に出品された平均値です
分析結果に対するコメント

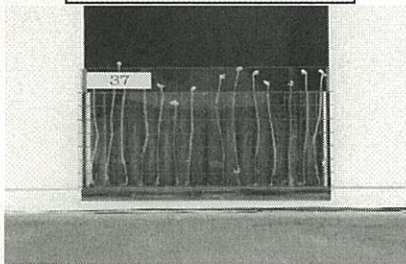
・今回は完熟と判定されました。

注)堆肥中の養分が多いか少ないかで堆肥品質の良否は判定できませんが土作りに用いる場合は養分が少ない方が好まれる傾向があります。

2 腐熟度判定結果

発芽試験結果画像

今回出品された堆肥の試験結果



発芽インデックス値 **169**

インデックス値(指数)	評価	評点	★
150以上	完熟	10	★
100~149	完熟に近い中熟	8	
70~99	中熟	6	
30~69	中熟	4	
1~29	未熟	2	

この腐熟度判定は熊本県堆肥生産技術コンクールに基づく腐熟度判定です。堆肥の熟度判定は統一的な判定法は確立されていませんので、判定法が異なれば腐熟度も異なって判定される場合もあります。

なお、平成17年度より判定項目と配点を変更しております。(発芽試験の項目追加、堆積期間と切り返しの項目を堆積期間の分解率(製造方法と堆積期間により計算)に変更等)

判定項目	現物審査			製造方法		分析項目			発芽試験	総合得点
	色相	形状	臭気	副資材	分解率	水分	C/N	塩素		
(配点)	15	10	15	5	10	10	15	10	10	100
得点	10	7	9	5.0	10.0	2	15	10.0	10	78.0

熟度の程度

完熟

判定基準

総合得点	判定
0~50	未熟
51~71	中熟
76~100	完熟

堆肥品質に対するコメント

・堆積期間は110日で十分な発酵期間であり、良質な堆肥が生産されています。
・水分は適正範囲(40~60%)を少し下回っています。堆肥化の期間中に水分が下がりすぎると微生物の活動が鈍くなり、堆肥化がスムーズに進行しなくなります。堆肥化期間中の堆肥の乾燥に注意して下さい。

今回の判定は以上のとおりです。この判定結果を参考にして、今後も良質堆きゅう肥の生産に努めて下さい。